

感染予防対策について（2023年，9月更新）

以下、長い文になりますが歯科治療をなるべく安全に続けられるよう大切な事柄ですので最後までお読みいただけますと幸いです。

当院は完全予約制です。患者さん同士がなるべく院内ですれ違わないように第2待合室の活用やアポイントの調整をしています。

これまで待合室、洗口室、診療室は患者さん一人ごとに消毒液で清拭、乾燥、換気していましたが、状況を見ながら待合室と洗口室は適時の消毒、清拭に変更致します。

しかし、これからも新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の感染状況にかかわらず診療室の消毒操作はこのまま変更しません。

このため乾燥前は入室できませんのでご体調の変化がないかご確認の上、アポイントの時間の少し前にいらしていただけますと助かります。何卒よろしくお願い申し上げます。

手指消毒をお願いしております。消毒用アルコールが苦手な方はスタッフにその故、お伝えください。

診療所内では可能な限りマスクの着用をお願い致します。マスクをお忘れの方はスタッフにお声がけください。医学的なご理由でマスクを着用できない方はこの限りではございません。事前にご相談ください。

マスクは入室後、治療開始まで着用していただいてもかまいません。途中の説明時なども同様です。

歯科医師、歯科衛生士共に常時マスク、ゴーグル、フェイスガードを着用しています。本来であれば患者さんのお顔を直接拝見してお話したいと思っておりますがこの状況下、申し訳ございません。

なお、飛沫を多く浴びる歯科医師は適時、帽子や診療着を着替えています。歯科衛生士も同様です。

グローブは患者さん一人ごとの交換だけではなく、診療室の入退室時も含めて複数回、頻繁に交換しています。

衛生管理設備は当院のホームページに記載しております。以前から出来る限りの事はしており特に設備追加はしておりません。

口腔外バキュームも常時稼働させています。これらの機器にはさらに2か所、フィルターを追加しています。高性能 HEPA フィルターの網目は0.3 μM です。最終的には0.01 μM の網目のフィルターを通してしています。

合わせて業務用の大型の外気取り入れ装置と排気装置を稼働しています。

当院は感染症専門機関からアドバイスを頂いております。

現在、新型コロナ感染者は相当数に上るとのことです。

治療法の発達や医療従事者の方達の努力で何事もなく回復される方が多い一方で後遺症の治療に通院する患者さんも増えているとのこと。

院長はアンチワクチン派でも推奨派でもありませんが実際に罹患して苦しんでいる方、お亡くなりになられた方、悲しまれている方、後遺症で苦しんでいる方がいらっしゃるの事実です。

そして透析をされている方やその他の基礎疾患をお持ちの方も大勢いらっしゃいます。重度の骨粗しょう症の方はひどい咳が続けば肋骨骨折をしてしまう方もいらっしゃいます。

必要以上に怖がる必要はないと思いますが感染、罹患しても欠勤欠席を出来る方、リモート等で働ける方がいらっしゃる一方で色々な事情で休めない方も大勢いらっしゃることを考え、当院にいらっしゃる間はお互い様、ご配慮頂けますようお願いいたします。

当院では消毒用アルコールや次亜塩素酸水による消毒は補助的なものとしています。理由はコロナ対策だけではなく B 型肝炎ウイルスやその他のアルコールでは効果がない感染症などに対するの防御も忘れてはならないからです。

それらに効果のある次亜塩素酸ナトリウムや高価ですが医療用の薬品をメインに使用しています。

院長 林浩太郎